

## 川崎マリーンロータリークラブ



2017~18年度 RIテーマ

ロータリー:  
変化をもたらす2017-2018年度 RI会長  
イアン H.S. ライズリー  
ROTARY:  
MAKING A DIFFERENCE

例会 毎週木曜日12:30  
 例会場 サンピアン(川崎市立労働会館)  
 TEL. 044-222-4416  
 事務局 〒210-0004 川崎市川崎区大島1-26-13-1F  
 TEL. 044-200-9249 FAX. 044-200-9252  
 U R L : <http://kawasakimarine-rc.com/>  
 E-mail : [marin-rc@eagle.ocn.ne.jp](mailto:marin-rc@eagle.ocn.ne.jp)

会長  
小枝義夫幹事  
増田洋一副会長  
伊藤秀司

## 川崎マリーン協賛

## 8月27日(日) かわさきロボット競技大会

ものづくりの町かわさきで、第24回かわさきロボット競技大会に、関係者の一員として参加してきました。この大会はジュニア部門とバトルロボット部門に分かれ予選2日、決勝1日で開催され、8月27日(日)川崎市産業振興会館(JR川崎駅から徒歩約5分)で、決勝戦が行われた。

趣旨は、メカトロニクス、エレクトロニクス、コンピュータ技術等と融合する総合技術的なロボットの製作を通じて、具体的なものづくりを体験する場の提供と次世代産業を担う技術者の育成、技術力の向上を図ることを目的とした人とロボットの調和を目指す競技大会です。

大会期間中、ロボット製作に関連する技術を持った中小企業の出展やロボット展示を行う「ロボットミニ見本市」も併せて開催されました。

ジュニア部門では、市内外の小学3年生から中学3年生までが参加する、腕、脚構造を持ったオリジナルロボットによる競技大会です。

数々の工夫を凝らしたロボットで戦います。今大会では34チームが参加しました。

チームで作り上げたロボットにはアイデアいっぱいに仕上がっていました。小学生チームが中学生チームに勝つという展開もありました。

バトルロボット部門では腕、脚構造を持つ自作ラジコン型ロボットによる異種格闘技戦で、一辺が2m弱の四角い土俵? 上で戦います。競技方法は予選1本勝負、決勝3本勝負のトーナメント方式です。今大会は全国から応募数209チームで、社会人が64チーム、学生145チームの参加でした。

この部門では「賞金」優勝(50万円)、準優勝(20万円)等々の賞が出ます。

ロボットの大きさは、幅25Cm以内、奥行き35Cm以内、高さ70Cm以内、重量は3.3Kgです。

スタートの合図と同時に攻撃用アームを勢いよく伸ばす様は、変身です。

色々な形のアームで、相手を投げ飛ばし、ひっくり返したり、とても激しいバトルです。土俵の上は真剣勝負そのもので、勝負は一瞬の出来事で決まるので目が離せません。

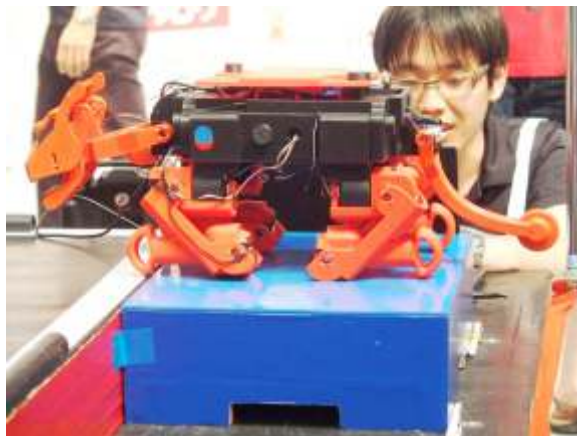
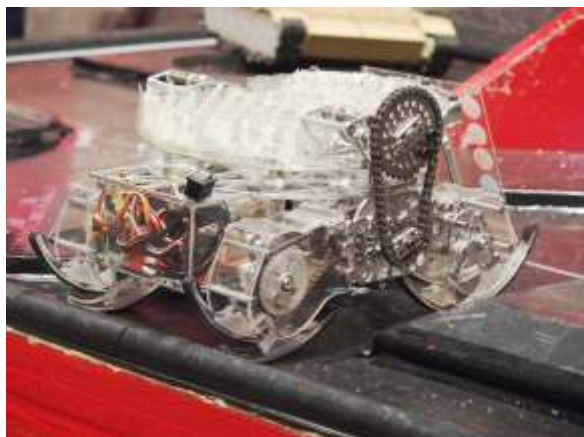
ジュニア部門の子供たちは、あどけさの中にも目を輝かし、金、銀、銅の大きなメダルをもらいとても喜んでいました。バトルロボット部門では、1年掛けて色々な思いで製作されたロボットを見ると、趣味性の高いもの、技術力全開のもの、優勝を狙って作られたものなど興味が尽きません。

参加選手同士はとても和気あいあい、技術的な話などの意見交換や、新しい出会いを求めています。この10年で「かわロボ」のマシーンも大きく変化し、動作が速く、構造が複雑化し、コンピュータソフトの重要性が増しています。土俵(フィールド)も大きく変わり、中央に山、走行面に障害物が置かれるようになっていきます。

若者のものづくり登竜門の「かわロボ」ですが、これからも日本のものづくり発展の為に、川崎市や近隣の企業、関係団体が、日本を担う若者を育成して行く事が、大切だと改めて感じました。

川崎マリーンロータリークラブ  
 青少年奉仕委員長 河口武生

# 月 日(日) かわさきロボット競技大会



かわさきロボット競技大会が無事終了しました。ご参加いただいた会員の皆様大変ありがとうございました。  
《出席者》野口社会奉仕委員長、河口青少年奉仕委員長、轟会員、鈴木会員、小山会員、福嶋会員、  
林会員、小枝会長、伊藤秀司副会長